

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	<理念の共有と実践について> 運営会社に変更になったこともあり、もともとあった理念と新しい運営会社の理念のすり合わせ中である。	もともとあった介護理念を踏まえた上で、今の理念を加えて職員で共有することにより、お客様にとってよりよいケアができるよう、実践に繋げていく。	職員会議の場などでそれぞれの意見を出し合いながら、介護理念を改めて見直す機会を持ち、自分達でどうしていきたいかを考える。	3ヶ月
2	33	<重度化や終末期に向けた方針の共有と支援> 主治医や提携医はいるものの、現場に看護師がいないため、医療との連携をどう作っていくか、ご家族の理解をどう得ていくかを検討中。	ご本人や家族の望まれる尊厳のある死が、ホームでどう提供できるかを職員が考え、提供できる体制を整える。	今後重度化したり終末期を迎えるお客様に対し、自分達の意識や対応を学ぶため、研修などに積極的に参加したり、医療との連携をグループでサポートできる環境を整える。	6ヶ月
3	49	<日常的な外出支援> 日常生活の中で、あたりまえのように外出する機会が十分ではない。	定期的に外出や外食ができる環境を整える。	職員体制を整えることで、全員で外出できるような機会を積極的に計画し、実行に繋げる。	6ヶ月
4	52	<居心地の良い共同空間づくり> 常に共同生活をしているお客様にとって見守りが行き届き、安心できる環境ではあるが、時にはストレスになることも考えられる。	お客様が自分のいたいと思う落ち着ける場所、落ち着ける環境を提供する。	今ある空間を生かしながら、お客様の個性や性格に合わせた家具の配置などを職員で意見を出し合い、居心地の良い場所作りを行う。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。